

ハツ面地区(農業生産基盤整備)

地区概要

本地区は男鹿市若美地区中央部の山間地域に位置し、水田の土地条件が劣悪で、他地域に比べて農業生産基盤が著しく立ち遅れていた。
 このため、本事業の実施により農作業の省力化、農業経営の合理化と安全性、並びに日常生活の利便性・快適性が図られた。

事業概要

実施目的

水稻、野菜中心として営農を推進するため、稲作の低コスト化、良質米生産のための地力対策、メロン等有利販売を高めるための条件整備を進めるための農業生産基盤整備を行い、農業所得の向上に努める。

- 事業主体 : 男鹿市(旧若美町)
- 事業工期 : H10~H15
- 受益面積 : 34.1ha
- 総事業費 : 703,800千円
- 事業工種(農業生産基盤整備)
- 用排水路 : 4.6km
- 農道 : 2.9km
- ほ場整備 : 6.1ha
- 暗渠排水 : 7.5ha



暗渠排水

暗渠排水の取り込みにより、転作大豆も順調な生育を期待されています。



ほ場整備

ほ場整備により水田が乾田化され、汎用化が進み、転作が楽になりました。



農道

農道の整備により、泥跳ね防止・防塵効果で特産品のメロンの品質がアップ
 特産のメロンを冠にした「日本海メロンマラソン」、賞品は特産メロン、完走後の水分補給も特産メロン



2010年をもって24回目の開催となりました。



ハツ面地区(農村生活環境基盤整備)

地区概要

本地区は男鹿市若美地区中央部の山間地域に位置し、他地域に比べて生活環境基盤整備が著しく立ち遅れており、現状では農業に依存しなければならない地域である。

このため、本事業の実施により地域特性を活かした農業の展開と環境改善により居住性を高め、地元労働力の確保、若者の定着を図る。

事業概要

実施目的

地域住民の交流の場、憩いの場として公園施設の整備及び集落排水路の整備を行う。また、農業経営及び農村生活の改善・合理化、健康増進、地域連帯感の醸成を図るため活性化施設を設置する。

- 事業主体 : 男鹿市(旧若美町)
- 事業工期 : H10~H15
- 総事業費 : 136,000千円
- 事業工種(農村生活環境基盤整備)
- 農業集落排水路 : 1.8km
- 農村公園 : 3ヶ所
- 活性化施設 : 1棟



農業集落排水路

集落排水路の整備により、集落環境が向上しました



農村公園

地域住民の交流の場、憩いの場として寄与している。



活性化施設整備事業

整備の目標

生活交流施設として集落住民の活性化を図るため、多目的利用の出来る施設として活用されている。

これまでの取組(利用率の低迷)

少子化、転出等による人口の減少がここ10年位で顕著に現れてきている。人口の減少数 平成10年 198人 平成20年 141人 57人の減(28.8%) これまでも地域一体となり参加する形態となるよう努力してきたが、人口の減少により利用率が横ばい状態である。

利用率

H17 41.6% H18 43.1% H19 49.5% H20 40.5% H21 50.6%

今後の方向性

これまでの主として集落内だけの利用では限界があるので、今後は集落外からの流入を見込める対策を一定期間をかけて計画し、利用率の向上を図りたい。早急な利用率の上昇は望めないが、年度計画をたてて着実に向上させたい。

活性化施設

